

# 保護者の意見を聴く会について

萩地区市民館 萩の間において『萩小学校に入学予定の未就学児の保護者の意見を聴く会』を下記の通り開催しました。

- 第一回 令和5年11月 8日(水曜) 10時から11時まで (参加者 4組(6名))
- 第二回 令和5年11月10日(金曜) 10時から11時まで (参加者 3組(3名))
- 第三回 令和5年11月11日(土曜) 16時から17時まで (参加者 5組(7名))
- 第四回 令和5年11月12日(日曜) 10時から11時まで (参加者 3組(5名))

意見、質問について、以下のとおり報告します。

## 1 意見等

---

- 萩小学校に今くらいの人数が維持できるのなら、先生などに手厚く見てもらえるので、今のとおりでも全然構わない。必要に応じて他学年と一緒に交流して、大体全校児童の名前がわかるよ、という環境なら、それが一番良い。

ただし、クラスに同性が1人だとちょっと『ありえないな』と思う。やっぱり人数が少ないと、一回こじれると壊滅的に無理になってしまう。それよりは、人数が適度にいた方が良いかなと思う。

どうなるにしろ、早く決めて欲しい。住宅を建てるにしても、子育て世代はおそらく小学1年生を基準に考える人が多いイメージがある。複式の対象の子たちが、1年生になるタイミングじゃないと、増えないと思う。だから、宅地分譲するなら早くして欲しい。

- 萩出身で萩に住んでいる者としては、萩小(母校)がなくなるのは寂しい。

例えば、先生の中には複式編制をどこが違う地区で経験していた先生がいるかもしれないし、自分の勉強のためにも、そういうところ(複式学級)で教えてみたい、という先生もいるかもしれない。こういう現状を市内の先生全員に話をしたら、「じゃあ自分がやってみよう」という先生もいるかもしれない。そういう方たちの力を借りることができれば、必ずしも複式を回避する必要はないのではないか、と思う。複式ができる豊川市になれば、これから長沢や他の地区で子どもの数が減って複式になります、となった時に、『萩でもやったから長沢でもできるね』と、複式ができるということも豊川市の一つの財産、強みになるのかなとも思う。

今、萩保育園も人数が少ないため、年少・年中・年長が1クラスで活動している。それこそ複式編制みたいな感じだが、下の子たちは上の子たちを見て、同じようになりたいから、確かに色々な事が出来るよう

になるのが早いし、上の子たちは下の子たちに優しくしてあげる、教えてあげるっていうのが自然とできるようになっていく。それを見ていると、違う学年の子と一緒に過ごすっていうのも別に悪いことばかりじゃないと思う。

まず複式編制をしないと切り切る前に、一旦複式をやり、それで時間を稼いでいる間に色んな対策を試しながら、考えていけば良いと思う。

- 統合して欲しい。今すぐでも全然構わない、という感じ。  
どこの学校に行くかとかが決まってない状況が不安。決めるなら、なるべく決めて欲しい。
  
- 市内でも統廃合とは無縁の校区の友達から、「そんなことがあるの?」「大丈夫?」と言われるのが結構辛い。  
色々な意見は凄く大事だと思う部分もあるが、この先子どもが減っていく中で、ドキドキしながら入学を迎えるのはどうなのか、と思ったりもする。合併に向けた準備期間が長ければ長いほど、色々な視点から整えることができるんじゃないかな、と思う。
  
- 子どもが増える可能性があるなら、やることやればいいんじゃないかと思う。  
この地元が好きだし、萩小を残せるものならやっぱり残した方がいいんじゃないかと思う。小規模特認校制や住宅分譲等のやれることをやってもダメというのであれば、住人も納得するだろう。  
正直、そんなに複式編制に対して抵抗はない。その学年が複式編制になることで、萩小学校が存続していける可能性があるならば、そこは、可哀想な部分もあるが仕方がない。色々出来ないこともあると思うが、それはそれで学ぶこともあるかなと思う。別に、複式が絶対嫌だというわけではない。  
複式にして、あとは子どもの数を増やすというのを重点的にしていった方が良い。
  
- みんな仲良くというのは良いことだと思うが、やっぱり同性の子が少ないまま6年間を過ごすというのは、不安が多い。人数が少ないと万が一の時に逃げ道がないから、衝撃も大きいと思う。  
赤坂小学校も来年から1クラスになるという話を聞いている。萩が赤坂と一緒にあって、分かれて2クラスで少人数っていう方が、理想的なんじゃないかなと思って、もどかしい。2クラスあれば逃げ道もあるし、人数が増えれば、気が合う・合わないも、色々な人と出会える。  
宅地分譲は重要な話だと思う。住宅の跡地がそのままになるよりは、人が来て増えることは良いことだが、小学校の話と一緒にされると、それは待ってられない。  
萩小学校の良さも凄くあると思うので、できれば、赤坂小学校に吸収されて、赤坂小学校に行くみたいなイメージよりは、ちゃんと萩小の良さを残して欲しい。合併というか、赤坂小学校と萩小学校の良さをちゃんと持った学校ができて欲しい。そういう思いが一番。決まるのがギリギリになって、慌てて統合して、

色々なことがあやふやになるのは困る。色々なことをちゃんと決めて、きちんと準備してから合併して欲しい。

- 児童数が多くて良いことも、少なくても良いことも、逆に悪いこともあると思うが、1クラス2人というのはさすがに、自分も親だったら、正直「う～ん」となる。

萩住宅跡地の分譲についても疑問があって、住宅分譲もやったところで一過性のものじゃないか、と思う。それをしたところで、例えば10年後に子どもが残るのか、長期的に見て、そこにそんな効果があるのか、と思う。

合併することは、正直しょうがないというか、仕方がないと思っている。それよりもその先のことをちゃんと考えて欲しい。通学や学校生活に不安がないようにということをしっかり市で考えてもらえると、親としては安心。「通学どうするんだろう。送迎となったら厳しいな」という心配の方が大きい。そういうことを具体的に決めてくれると、親は心構えができる。

出来る範囲でいいので、「こういうふうになります」と明確にして欲しい。全部宙ぶらりんというか、親はどうしていいのかわからない。

我々保護者は、あの説明会とアンケートから、何も進捗状況ももらっていないのが不安だった。親としては、早く合併して、萩小学校の子がお客様にならないようにするため、萩小学校の先生を配置してもらったり、統合する前に一緒に何かをやる機会を増やしてもらったり、そういう対策をして欲しい。

すぐに統合したいというよりは、準備に時間をかけて欲しい。

検討委員会が何度か行われたことは知っているが、そこでどういう話をされたかが全く分からない。親たちが置き去りにされないのが良い。

- 送り出すなら、私は前向きに子どもを送り出したいと思う。一緒にする授業が増えたり、オンラインや交流等がもっとあればと思う。例えば、先日「歩け歩け」という萩町遠足があったが、赤坂と萩の交流の何かをやるとか、もうちょっと町を挙げて、別に複式に関係なく小さい町同士、隣同士仲よくしよう、みたいな交流があると良い。

萩の先生も何人か一緒に赤坂小学校へ異動して、萩小から赤坂小に行った子の心のケアもちゃんとしてくれるとか。子どもにとって拠り所になる身近な人が一緒に学校へ動いてくれるとか、そういうことであれば、私は子どもに「赤坂小も楽しいよ」と言えると思う。

ただ、今回のことは“令和10年度”を強調してきたので、例えば『令和7年度から統合です』となったら、今まで対象外だった保護者がどう思うかはわからない。今は自分の子が対象外だと思っている保護者が、突然対象になったとしたら、びっくりすると思う。

なので、合併年度を早める場合は、早急に「令和9年になったので対象者が増えました」というお知らせをしてあげた方が良いと思う。

- 学芸会で、校長先生が「子どもたちが支えあったり、一人ひとり責任感を持って取り込むことが出来た」ということを言っていた。それはそうだなと思ったし、それは子どもの成長にもつながっていく。そういう子達を、やっぱり育てていくことが大事。責任感とか役割を、小規模ならではの中で与えられて、それを乗り越えていく。それがやっぱり自信につながっていく、ということが見えてきている感じはある。そういったメリットも凄く大事だなと感じている。

大規模校にするのは難しいが、分譲住宅のことも進んでいるので、それと併せながら、ある程度子ども  
の人数を増やし、維持していく、という体制を作っていくことが大切ではないか。

子どもは地域に支えられている。萩小学校はやっぱり地域とのつながりが凄く強いと思う。そこに育った  
者として、そこは凄く良いなと率直に思う。

今年度の全国学力調査で、愛知県は学習が落ちたことにより、大村知事から『少人数学級を重視させて  
いこう』という方針がでた。方向性が決めにくいところもあると思うが、県からも、少人数を重視させていく  
という方針が出されている状態なので。

色々な子どもがいるっていうことを念頭に入れながら、あくまで公平に、検討を進めていって欲しい。

- 萩は子どもの数が少ないっていうこともあって、いずれは統合するだろうと思っていた。

萩の良いところや小規模校の良いところはあると思うが、資料に載っている人数のまま子どもが6年間  
過ごすと考えたとき、出来ないことがいっぱいあるな、と感じる。小学校の時に経験しておくべき色々なこ  
とが出来ないような気がして、不安になる。保護者によって意見は色々あると思うが、これだけ人数が少  
ないところで6年過ごすというのは、不安なんじゃないかなと思う。

萩住宅を分譲して人が増えていけば、それが一番良いと思うが、我々はもう複式編制が間近に迫った状  
態。対象の子たちが小学校に入学するのはもうすぐ。正直、対象となっている年齢の子どもたちが、分譲  
することで10人増えるとは思わない。令和10年まで待っていたら、3年生や4年生は、クラス2名のまま  
3年間、4年間過ごすことになる。それが良いと思う人もいるし、辛いと思う人もいるが、私は、子どもの  
色々な機会を奪っているのではないかと感じる。自分の小学校では1学年50人くらいはいた。男の子  
の友達がたくさんいて、皆でサッカーや野球をやった、というのが、小学校時代の思い出のほとんどを占  
めている。自分の子どもにその機会がないのはちょっと厳しいと思う。

率直に言うと、子どもがある程度的人数の中で、協力したり、喧嘩したり、一緒に運動したりと、同じ学年  
である程度的人数がいる中で成長してもらいたいという思う身としては、早く合併していただきたい。

統合するとなった場合、準備期間中に赤坂小と色々やりながら子どもたちの交流を定期的を実施して、  
萩の良さもわかってもらう。萩からいきなり転校生みたいな形で行くのではなくて、一緒になっていくよ  
うな感じが望ましい。

- 今の萩小学校では小規模すぎると思うが、長い目で見て赤坂小学校と長沢小学校と統合した場合、1ク  
ラス35人という状態になるが、それは少人数を推奨する中で、時代の流れに逆らっているという印象が  
ある。

アンケートでは、小規模だからこそその問題を書いている方が多く、だから人数を増やしたいという意見を見た。それはその通りだと思うが、物理的に人数が増えるから解決する部分もあると思うが、統合して人数が増えるからといって、今、萩小学校で起きている問題が全て解決するわけではない。そこはちょっと安易な考えだと思う。

子どもの数が増えるということは、それだけ問題が増えるということ。子どもの集団では、必ず、大なり小なり問題は起きる。子どもの数が増えれば、保護者の数や教員の数が増え、より問題が増えるということになる。

全ての保護者の方の願いとしては、『子どもに楽しく学校に通って欲しい』だと思う。じゃあ、『楽しく学校に通う』というのはどういうことかというと、大きな問題がなく、仮に問題があったとしても、それを乗り越えて、成長して学校生活を送って欲しいということだと思う。

今の萩小学校においても、大なり小なり色々な問題は起きている。では、問題を解決するために、一番重要なのは何かというと、やはり早期の発見である。そして早期発見するためには、やはり教員の気づきが必要。教員の早期発見が重要だと思うが、1クラス35人もいる学級を果たして担任1人で見る事が出来るのか、疑問である。

市内の他の学校で1学年30人越えのクラスの保護者の方から色々話を聞くと、やはり、教員が子どもを見きれていないと言っていた。勿論、ベテランの先生なのか、新任の先生なのか、そういう差はあると思うが、やはり、子どもの人数がある程度少ない方が教員の目が行き届いて、一人ひとりに寄り添った指導ができるんじゃないか、と思う。

30年くらい前の萩小学校でも、1学年に20人いない時があったと聞いた。今は町内会で空き家対策も進んでいるような話も聞くので、少しずつ人口を増やし、15人後半から20人程度の学年を維持して萩小学校を残していければ、子どもたちにとっては、先生の目が行き届く、凄く良い環境だなと思う。

- この話の対象になるのは、子ども。この対象の時に生まれた年の子たちに一番影響がある。萩小学校の今後を決めるうえで、何を重要視するかっていうところを、一番に大切にしてもらいたい。

今、子どもが保育園に通っているが、人数が少ないことで本人も凄く辛い思いをしていて、最近「行きたくない」というのをよく聞く。それが、親としてとても辛い。

今後もこの状態が続くと、本人はずっと、6年生までそういう意見を言うことになる。これは親としては、涙が出るくらい辛くて、こういう苦しい思いをしているということ、一番に考えて欲しい。

萩の子たちが萩を大好きに思うのは凄く良いことだと思うが、これからの子どもたちがどう育っていくのか、苦しんでいる子どもたちの気持ちを大切にしたい。それを一番に重要視してもらいたいと、強く願う。

- 学校を統合する場合、色々な検討や準備が必要になると思うので、ある程度期限決めて、ここまではどういことをやって、それがもしダメだったらこっちにしましょう、というところは明確にして進めて欲しい。

- 保護者としては、いつからどう変わるのか、というところがないと、子どもの負担が凄く大きいと思ってしまふ。自分の子どもが何年生の時に変化があるのか、ということをもっと早く知りた。こういう機会を設けてもらったことは凄く感謝はしているが、保護者の声は微々たるもので、一意見である。
- 自分も小学校の頃はクラス替えがなくて6年間だった。それについては自分としては全く問題なかったが、その当時は1クラス多分30人くらいいた。保育園や幼稚園から小学校に上がる時に、集団生活の基礎、社会性を学びながら、と考えた時、この人数でどうなのか、と思う。
- 子どもたちの教育の場や、友達を選択して、どういう人と合うか、どういう人と仲良くなれるのか、というのを学ぶ機会を考えた時に、やっぱり私としては合併した方が、良いかなと思える。
- ただ、そうなった時の通学の安全は凄く気にはしている。学校をどうするかとクラスどうするかなど、凄く色々決めなければいけないことがある中で、交通整理等もしっかり検討してくれればいいが、それがどんどん後手になって、やっつけ仕事のように合併したら、実は色々な検討が足りず、通学でも全然子どもたちの安全が守られていない、ということだけは一番避けて欲しいと思う。
- まずは早めにどうするかを決定して、準備期間をしっかりとって、子どもたちの安全と教育の場というのが疎かにならないようにしていただきたい。
- 合併が早ければ早いほどいい、とは思わない。合併はして欲しいが、合併しました、子どもたちの通学の時に車が近くで往来しています、事故の可能性もとても高いです、という状態での合併スタートは避けていただきたい。しっかりと準備期間をとって、過剰な分くらい色々検討して欲しい。
- 前回の全体説明会には参加させていただいた。地元を大事にしたいという思いは理解できるが、やはり一番変化を受けるのは小学校の子どもたち。親としては、子どもへの負担が凄く心配。それを忘れないで欲しい。

## 2 質疑応答

---

### 今後のスケジュールについて

■ 今後の萩小学校について、いつ、どのようにして決まるのか。

令和5年度中には検討委員会で方向性を出示していただく予定。それを受けて教育委員会がどうするかを検討をしていく。

### 複式編制関連

■ 豊川市は絶対に複式学級をしないという方針なのか。

【豊川市立小中学校の規模に関する基本方針教育基本方針】において、複式編制を回避すると定めている。

【豊川市立小中学校の規模に関する基本方針教育基本方針】より抜粋

(4) 複式編制の回避

本市においては、将来的に、一部の小学校について、複式学級が編制される過小規模校への移行が見込まれます。

小学校で複式学級を編制する場合には、教職員が複数学年を行き来しながら直接指導と間接指導を組み合わせる授業を行う際に、児童の集中力が途切れやすくなったり、単式学級の場合と比較して直接指導の時間が少なくなったりすることが想定されます。また、単式学級と異なる指導順になる場合、単式学級の学校への転校時に未習事項が生じることも考えられます。こうした児童への影響に加え、教職員への影響としては、特別な指導技術が求められるとともに、複数学年分の教材研究・指導準備に伴う負担増加といった課題も想定されます。

一方で、教職員が複数学年を行き来する間、児童生徒が相互に学び合う活動を充実させたり、異年齢の学習活動を組んだりしやすいといったメリットもありますが、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律が制定されて以来、数回にわたる法改正により、複式学級の解消が進められてきました。

こうした状況を踏まえ、市としては、市内の児童生徒を対象とする学校教育の機会均等やその水準の維持・向上の観点から、複式編制を回避するという方向性の中で、小規模の小学校に関する課題解決に向けた対応を進めていきます。

- **愛知県の基準以下となった場合、必ず複式編制にしなければならないのか。それぞれ少人数でも1学年1人ずつの担任を配置することは出来ないのか。**

愛知県の基準以下となった場合、教員は2学年で1人しか配置されないため、市が教員を直接雇用し、追加で配置することとなる。

ただし、教員のなり手は年々減っており、どの学校も教員不足である。その中で萩小学校だけに追加で教員を配置するのは、なかなか難しいと考える。

- **令和10年よりも前に引っ越し等の理由で入学児童が減って複式編制となる基準の14人を下回った場合、その次の年からすぐ複式編制になるのか。**

基準を下回った場合に、県では1年の猶予期間を設けているため、その1年で準備する必要がある。

- **今後、萩の人口が増え、令和10年以降は毎年10人程度の入学児童が見込まれる場合、令和10年に複式編制になる3、4年生は、一時的に複式編制になるのか。**

県との協議次第ではあるが、たまたまその年度だけ人数が少ない場合には、基準を下回ったとしても複式編制にならない可能性がある。

## **学校選択制関連**

- **萩小学校に学校選択制(小規模特認校制)を導入する場合、いつから開始するのか。**

最短で、令和6年度に募集し、令和7年度から他学区の子どもの受け入れ開始となる。

なお、学校選択制を年単位とするのか、卒業までを条件とするかについては、導入することが決定した後の検討となる。

- **学校選択制(小規模特認校制)で、萩小学校に来るのではなく、萩小学校区から他の小学校に通うことは可能か。**

現在の制度では不可能。

- **校区外通学(指定校変更)が認められる事例として、「その他特別の理由により就学指定校以外の学校に就学を希望する場合」とあるが、「児童の数が少なすぎて子どもが辛い思いをしている」というのは理由として認められるか。**

現在そういった理由で校区外通学を認めている事例はないため、要検討である。



## 小中一貫校関連

### ■ 音羽地区に小中一貫校を建設することは可能か。

新規で建設する場合は令和10年度には間に合わない。また、市の財政的にも厳しい。既存の建物を利用する場合は令和10年度に間に合わせることも不可能ではない。今後、子どもの数が減っていくと、小中一貫校を実施しても、小中9年間において、1学年1クラスになる可能性はある。

## その他

### ■ 赤坂小学校と合併した場合、住んでいる場所によっては学校までの距離が遠くなる。赤坂小学校までスクールバスは出るのか。

他の小学校と合併した場合のスクールバスの運用については、今後検討が必要。現在コミュニティバスが久田集会場まで出ているので、それをスクールバスとして運用するのか、もしくはダイヤを変更して市民と一緒に利用してもらうかなど、合併が決まった際には検討していく。

また、スクールバスを利用することで体力低下を問題視する声もあるため、その辺りを含めて検討する必要がある。

### ■ 萩は市街化調整区域になっているため、農家住宅や農家の分家住宅以外、家を建てることが出来ない。市街化区域に変更することは出来ないのか。

豊川市は市街化調整区域を市街化区域にする政策をとっていないため、原則不可能。

### ■ 市街化区域や市街化調整区域は誰がいつ決めたのか。

音羽地区においては、旧音羽町時代に市街化調整区域と市街化区域が定められている。

### ■ 空き家活用や、萩住宅地の分譲についてはどうなっているのか。

空き家対策については、現在町内会が中心となり、空き家バンクへの登録や活用を呼び掛けている。宅地分譲については、教育委員会とは担当が異なるため詳細は不明だが、今年度中に更地にし、令和6年度に測量調査、令和7年度から売り出す予定と聞いている。

■ **豊川市において、直近年度で学校統合という事例はあったのか。**

1960年から1970年においては、学区の見直しなどによりいくつかの小学校の合併があったが、それ以降豊川市では学校統合の事例はない。

なお、音羽地区においては、1948年に赤坂中学校と長沢中学校が合併し、音羽中学校になり、1955年には萩中学校がその音羽中学校と合併している。

■ **仮に赤坂小学校に合併となった場合、町内会はどうなるのか。町内会も赤坂に合併されるのか。**

町内会は市の組織ではなく地元の組織であるため、仮に赤坂小学校と合併しても町内はそのままである。

■ **以前実施した住民アンケートの記載欄に、『小学校がなくなると道路の整備が疎かになる』という意見があったが、それは事実か。**

道路整備に関して、学校の有無は関係しない。

ただし、人が多い市街地とその他の地域では、整備の優先順位が異なる。

■ **令和5年4月に実施したような全町民に対しての説明会は今後実施するのか。**

検討委員会の判断によると思う。教育委員会としては、萩町だけでなく、音羽地区全体の問題として、説明は必要であると考えている。

■ **検討委員会はどのようなことが話し合われているのか。会議の詳細について知りたい。**

豊川市のホームページ上に、今までの検討委員会の議事概要や、先に実施したアンケート結果、説明会での質疑応答などを掲載している。



萩小学校複式編制(学級)回避への取組について

[https://www.city.toyokawa.lg.jp/kosodate/kyouikuiinkai/kyoikushomu\\_hagi.html](https://www.city.toyokawa.lg.jp/kosodate/kyouikuiinkai/kyoikushomu_hagi.html)